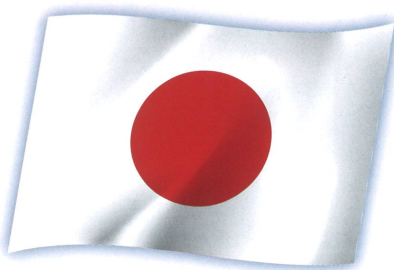


パリ 2024 オリンピック 出場決定！

石川祐希選手

星城高等学校
2013 年度卒業・第 49 回生
男子バレーボールキャプテン



深津旭弘選手

星城高等学校
2005 年度卒業・第 41 回生
男子バレーボール



オリンピックでの熱い応援
よろしくお願いいたします！

<男子バレーボール日程>
7月27日～8月10日

深津貴之さん

星城高等学校
2006 年度卒業・第 42 回生
男子バレーボール日本代表チームコーチ

特集

進化する星城

—キャンパスの進化 ①—

「心の教育」の推進

星城大学は、第一の目的として、本学学生の学修環境の整備を通して、より良い学生生活を送ってもらうこと、保護者の方に本学の取り組みを知ってもらうこと、その他本学に関わるすべての方に、より快適な環境をつくることを目指し、学内環境改善計画の立案、環境改善に取り組んでいます。

2023年度より、教室や学生の休憩スペースだけでなく、本学に関わるすべてのものを改善計画の対象とし、

大学全体が進化するよう、施設設備の改修、学内サーバーの更新などを進めてまいりました。

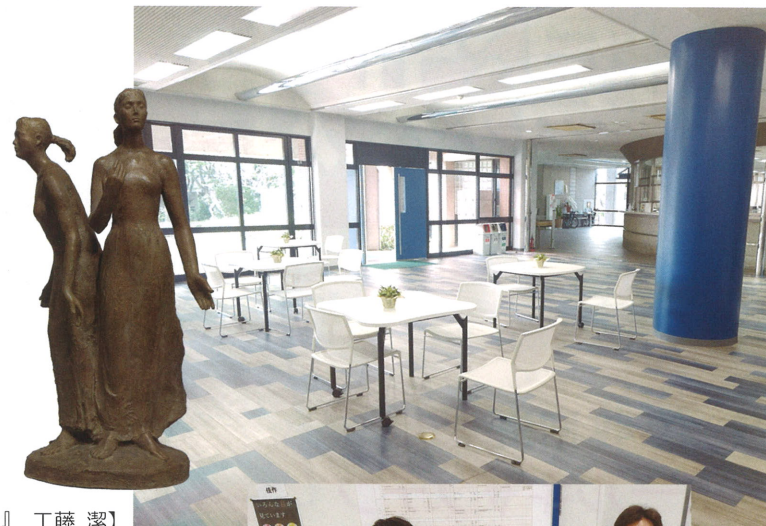
2024年度は、アクティブラーニングの推進に向けた本館の大教室の全面改修工事、4号館全館の空調更新工事、学生が日頃、自身の講義時間割や大学からの連絡確認に活用している教務システムに、さらに保護者に向けて情報発信ができる新機能の追加などを計画しています。

星城大学

エントランスホールが
明るい憩いの場へと生まれ変わりました

本館 エントランスホール

本部東海キャンパス



【『duet』 工藤 潔】

「在学生だけでなく同窓生をはじめとする大学に関わるすべての方のために」をコンセプトとして、エントランスホールをコミュニケーションの場、休憩など快適に利用できるよう、星城大学同窓会のご協力のもと、全面改修工事を行いました。また、彫刻家の工藤潔先生より、日展出展作品含む3点2作品が寄贈、設置される予定です。



同窓会理事により
寄付名盤が設置されました



本部東海キャンパス

特集 進化する星城 —キャンパスの進化①—

「心の教育」の推進

名古屋石田学園では、2023年度より「心の教育」を念頭に置いた学内環境改善計画の取り組みを推進しています。

環境の整備を情操教育の一環として、豊かな人間形成につながる学びの場づくりを目指しています。

「各学校のキャンパスがどのように進化しているのか？」進化したキャンパスの姿をご紹介します。

今号は星城大学・星の城幼稚園編。大学と幼稚園における学内環境改善計画のテーマと進化を遂げた学び舎を見てみましょう。

※掲載内容は2024年6月時点のものです。



名古屋丸の内キャンパス

3号館 1階3101教室

本部東海キャンパス



マルチな機能性を兼ね備えた3101教室

リハビリテーション学部棟3号館では、様々な授業を行うだけでなく、自習やミーティングの場としても利用する3101教室の全面改修工事を行いました。教室を仕切るパーティションに加え、稼働式の机や重ねて保管できるイスを設置することで、自習・ミーティング・グループワークなど、様々な場面に活用できるようになりました。



星城ホールがより実用的で快適な学びの場に

星城ホール 名古屋丸の内キャンパス

丸の内キャンパスでは、唯一の大教室「星城ホール」のイスを、今回新たに重ねて保管できるものに交換したことで、より快適に授業を受けられるとともに、様々なイベントでホールを活用できるよう、施設設備を整えました。

これら以外にも、今必要なことを着実に改善することで、より明るく楽しく学びが深まる場を提供します。

星の城幼稚園

星の城幼稚園のある豊明市内、また近隣名古屋市の緑区などでもここ数年、新しい保育園ができたり、新しく建て直しをしたりする園が増加しています。

星の城幼稚園は築52年となりました。令和3年に50周年を迎えた際には、テラスをガラスの壁にしたり、園庭を人工芝とグリーンサンドにしたりして、教育環境の改修を図ってきました。

少子化により、豊明市の幼児の人口も減少していく中、学内環境改善計画により一層の改善を進めていきたいと思っております。そして、「この幼稚園に通いたい」と保育だけでなく、施設面でも言っていただけの幼稚園を目指していきたいと思っております。



棚の設置で整理
整頓されました



改善が進む
スターキッズプラザ

きらきら教室保育室は、床に断熱材を入れたり、エアコンを取り替えたりしました。床も明るい色に変えてより楽しく教室に参加できる部屋になりました。2階には棚を入れ、目的別に整理することができるようになりました。

きらきら教室保育室／2階



星の城幼稚園

星の城幼稚園 スターキッズプラザ

星の城幼稚園の向かいにあるスターキッズプラザの改修を行いました。経年劣化と使い勝手を考えた改修となりました。



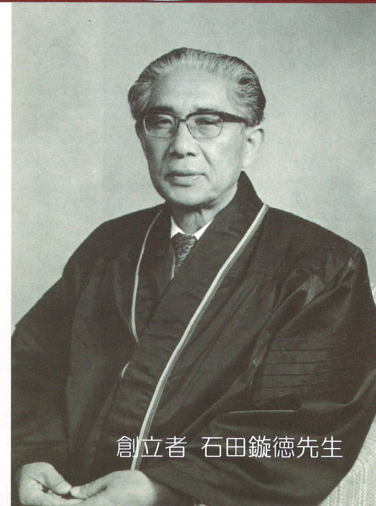
みんなで楽しく手洗いしましょう！

手洗い場をより幼児が使いやすい、楽しく使える手洗い場に改善しました。

小ルームは西日よけ、カーテンなど改善しました。先生たちの会議などにも使う予定です。

スターキッズプラザ 手洗い場／小ルーム

いしだ せんたく
創立者 石田 鏞徳 先生



創立者 石田鏞徳先生

2025年に名古屋石田学園の創立者である石田鏞徳先生の没後50年を迎えるにあたり、星城教育の原点となる「鏞徳先生の遺した教え」を、ここで確りと理解を深め、心に留める場とさせていただきます。

鏞徳先生が書き残された数々の文稿のうち、とくにお人柄を感じる内容をここにご紹介いたします。鏞徳先生のお人柄を通して、鏞徳先生の教育理念、本学園の「建学の精神」を改めて見つめ直す機会となれば幸いです。

鏞徳先生は、建学の精神の第一に「報謝の至誠」を掲げられました。鏞徳先生の日常は感謝の日々であり、あらゆる場面において手を合わせ合掌し、感謝の意を表されました。

右記「ありがとう！」では、鏞徳先生の感謝の心を大切に、生徒に寄り添う温かいお人柄がにじみ出るエピソードです。

帰りの電車の中で、周りが見えなくなるほど友人たちとの会話に夢中になってしまったA君は、鏞徳先生から注意を受け、そこで自分が迷惑をかけてしまったことに気づきます。

A君は「迷惑をかけてしまったこと」に対して、「すみません」の謝罪と同時に、それに気づかせていただいたことに「ありがとうございました」と感謝しました。

A君自らが発した「ありがとう」の感謝の言葉に、鏞徳先生が大変感激された様子が目に浮かびます。鏞徳先生が目指した「感謝のできる」実践力に富んだ逞しい人間の育成。A君の成長をとともに喜んだひとときでありました。

ありがとう！

本校生徒A君は元気のよい少年である。学校の帰路碧南市あたりの車中で、友人二三と語り合っているうちに何時しか話題は飛躍し、声も大きくなって来て、騒々しさは傍らに人無きが如しというところまで発展してしまっ。

偶々居合わせた本校の一父兄からこれでは星城高校の品位にかかわると憂慮されて私に注意してほしいと知らせがあった。

早速A君を校長室に呼び出し、そのことについて注意を与えた。A君はしばし静かにこの日の記憶を辿っていたのであったがやがて、姿勢を一層正して

「先生、すみません、ありがとうございました。」と、丁寧に頭を下げた。瞬間！ズシリと私の心に通じる何ものかがあった。

私は思わず立ち上がりA君の肩に手をかけ、「君、君のそのありがとう！本当に腹から出た言葉であろうな？このありがとうという言葉は実に尊い。

ごまかしの弁解や反抗が先に来る君たちの年頃に、悪かったことを素直に認め、自分の欠点、過失を忠告されたことに、ありがとうと感謝をすること、これはなかなか出来ないことだ。よくぞ言ってくれた。

その言葉を聞いて僕は実にうれしい。」私はうれし涙がこみ上げてくる想いで、君のその言葉が気に入ったと二三次A君の肩をたたいて、共々に喜んだことであった。

その直後、全校生が小講堂に集会する行事があったので早速この件を披露し、全生徒にA君の立派な態度を賞めたたえたのであった。（昭和38年7月2日「星雲 ふたまわり」より）

石田鏞徳先生略歴

名古屋英学塾を設立

- 1945年 名古屋英学塾設立
- 1947年 大学予備校を併設
- 1947年 名英図書出版協会開設
- 1949年 愛知県各種学校連合会副会長就任

1906年3月18日
愛知県西春日井郡山田村大字大野木に誕生

私塾明德学館を設立

- 1913年 山田尋常高等小学校入学
- 1921年 山田尋常高等小学校卒業
- 1921年 名古屋通信講習所入学
- 1922年 通信通信局勤務
- 1925年 尾張中学校三年に編入
- 1928年 尾張中学校卒業
- 1928年 早稲田大学専門部商科入学
- 1931年 早稲田大学専門部商科卒業
- 1931年 早稲田大学法学部行政科入学
- 1934年 早稲田大学法学部行政科卒業
- 1934年 一般政治経済事情調査のため南洋諸国を遊歴
- 1935年 私立尾張中学校教員
- 1939年 増川か寿子と結婚
- 1941年 私塾明德学館設立
- 1942年 名古屋高等女学校講師兼任

1975年12月23日
逝去(六九歳)

学校法人石田学園認可

- 1951年 学校法人石田学園認可
- 1960年 愛知県各種学校連合会監事就任
- 1963年 星城高等学校設立
- 1971年 星の城幼稚園設立
- 1975年 愛知県専門教育協会会長就任

PHILOSOPHY

令和5年度 学園財務情報 (決算の概要)



資金収支計算書

(単位 千円)

収入の部		支出の部	
学生生徒等納付金収入	2,394,483	人件費支出	2,348,637
手数料収入	96,394	教育研究経費支出	677,872
寄付金収入	21,340	管理経費支出	285,614
補助金収入	908,638	借入金等利息支出	2,606
資産売却収入	6,046,746	借入金等返済支出	112,500
付随事業・収益事業収入	37,754	施設関係支出	40,988
受取利息・配当金収入	222,691	設備関係支出	79,959
雑収入	249,952	資産運用支出	6,417,909
借入金等収入	0	その他の支出	88,548
前受金収入	427,591		
その他の収入	193,172		
資金収入調整勘定	△542,179	資金支出調整勘定	△131,774
前年度繰越支払資金	521,056	翌年度繰越支払資金	654,779
収入の部合計	10,577,638	支出の部合計	10,577,638

資金収支計算書は、当該会計年度の資金の動きを明らかにしたもので、教育研究活動及びその活動に付随するすべての収入・支出が記載され、事業活動収支計算書にはない前受金収入や施設・設備関係の支出等が計上されています。

◎資金収支の状況
当年度は教育研究のための経費として6億7千万円、施設・設備合わせて1億2千万円の資金が使われ、教育研究及び教育環境の充実が図られました。



事業活動収支計算書

(単位 千円)

教育活動収支		特別収支			
収入	学生生徒等納付金	2,394,483	資産売却差額	0	
	手数料	96,394	その他の特別収入	7,153	
	寄付金	21,340	特別収入計	7,153	
	経常費等補助金	904,462	支出	資産処分差額	2,948
	付随事業収入	35,755		その他の特別支出	0
	雑収入	137,186	特別支出計	2,948	
教育活動収入計	3,589,620	特別収支差額	4,205		
支出	人件費	2,303,304	基本金組入前当年度収支差額	366,424	
	教育研究経費	970,463	基本金組入額合計 ※	△236,492	
	管理経費	303,048	当年度収支差額	129,932	
	徴収不能額等	0	前年度繰越収支差額	416,146	
教育活動支出計	3,576,815	基本金取崩額	39,188		
教育活動収支差額	12,805	翌年度繰越収支差額	585,266		
教育活動外収支		(参考)			
収入	受取利息・配当金	224,972	事業活動収入計	3,976,635	
	その他の教育活動外収入	154,891	事業活動支出計	3,610,211	
	教育活動外収入計	379,863			
支出	借入金等利息	2,606			
	その他の教育活動外支出	27,842			
	教育活動外支出計	30,448			
教育活動外収支差額	349,415				
経常収支差額	362,220				

事業活動収支計算書は、現物寄付等も含む「事業活動収入」と、教育研究経費・管理経費における減価償却費等を含む「事業活動支出」と対比させ、基本金を組入れる前の収支差額及び組入れ後の当年度収支差額により、経営状況を示したものです。学校法人は収支均衡を目的としています。

※基本金とは、学校法人が将来にわたって維持・発展するためには、教育研究の基盤となる土地・建物・設備（機器・図書）等の資産を保持し、維持していかなければなりません。この資産を「基本金」と言い、その取得額が「基本金組入額」となります。

◎事業活動収支の状況
当年度の本業である教育活動収入は35億9千万円、教育活動支出は35億8千万円となり、教育活動収支差額はほぼ収支均衡となりました。財務活動による教育活動外収支と臨時的な特別収支を加え、基本金を組入れた後の当年度収支差額は1億3千万円となりました。



貸借対照表

(単位 千円)

科目	本年度末	科目	本年度末
固定資産	20,931,715	固定負債	1,323,535
(有形固定資産)	11,146,774)	流動負債	835,902
(特定資産)	1,925,825)	負債の部合計	2,159,437
(その他の固定資産)	7,859,116)	基本金	18,939,870
流動資産	752,858	繰越収支差額	585,266
資産の部合計	21,684,573	純資産の部合計	19,525,136
		負債及び純資産の部合計	21,684,573

貸借対照表は、年度末における資産の保有状況と財政状態を明らかにするものです。

◎貸借対照表の状況
土地・建物・設備・預金等216億8千万円の資産を保有し、借入金等負債21億6千万円を差し引いた正味財産は195億2千万円となりました。

HISTORY

学園アカルト

「命を救う！」日本赤十字社献血活動を実施

星城大学

6月4日(火)に愛知県赤十字血液センター様のご協力を得て、社会貢献活動の一環として、東海キャンパス内で献血活動を実施しました。

当日は、受付に列ができるほどの盛況ぶりであり、愛知県赤十字血液センター様から「これほどの学生が協力してくれる大学は他になく、多くの患者さんの命を救うことができます」や「一人の患者さんの命を救うのに、平均すると4人分の献血が必要であり、今回の献血ご協力で、約17人の患者さんの命を救うことができる献血活動となりました」とお礼の言葉をいただきました。

献血活動に協力して下さった皆さまに感謝を申し上げます。

次回は、10月13日(日)の大学祭で実施予定です、ぜひご来場ください。



【献血バス車内の様子】



【献血へのご協力ありがとうございました！】

「全国総合体育大会(インターハイ)」出場者紹介

星城高等学校

全国高等学校総合体育大会インターハイの出場者が決まりました。

令和6年度大会は、大会愛称を「ありがとうを強さに変えて 北部九州総体2024」とし、「駆け上がり 夢の舞台へ 燃え上がり若人の魂」をスローガンに九州北部の福岡県・佐賀県・長崎県・大分県を中心に、7月21日(日)から8月20日(火)の期間で開催されます。

星城高等学校からは団体4チーム、個人11名の出場が叶いました(氏名後の数字は学年を示す)。

【星城高校 web サイト】



ソフトボール部

日程：7月22日(日)～25日(木)
会場：長崎県大村市総合運動公園 運動広場

◆団体出場

「高校生活最後であり、最高の舞台であり、そして愛知県代表であることの自覚を持ち出場します。『一意奮闘』し全国優勝を目指します。」
(野田愛紗)



レスリング部

日程：8月1日(木)～4日(日)
会場：佐賀県嬉野市中央体育館

◆学校対抗戦出場(フリースタイル) ◆個人対抗戦(フリースタイル)

- ・51kg級 松浦充希(1) (安城市立桜井中学校出身)
- ・55kg級 満永大楽(3) (知立市立知立中学校出身)
- ・60kg級 内山龍飛(3) (豊明市立豊明中学校出身)
- ・92kg級 丹下愛大(3) (あま市立甚目寺南中学校出身)

「私たちレスリング部は、愛知県代表と星城高校の代表としての自覚・誇り・自信を持って戦って参ります。個人戦の目標は『優勝』です。」 (満永大楽)



空手道部

日程：8月1日(木)～4日(日)
会場：長崎県佐世保市体育文化館

◆男子団体組手出場

◆個人戦

- ・男子形 夏 虎太郎(3) (名古屋市立吉根中学校出身)
- ・男子組手 菱田悠斗(3) (名古屋市立山田中学校出身)
- ・女子形 宮ノ越優鈴(3) (一宮市立大和中学校出身)
- ・女子組手 大野 寧(3) (愛西市立永和中学校出身)
- ・女子組手 藤村美月(3) (東郷町立春木中学校出身)

「インターハイに出場が叶ったことは、支えて下さる方々のおかげです。感謝の気持ちを忘れず、結果で恩返しする意気込みで頑張ります。」
(藤村美月)



剣道部

日程：8月3日(土)～6日(火)
会場：大分県大分市レゾナック

◆男子団体出場

「今まで共に稽古をしてきた仲間を信じ、自分を信じ、周囲への感謝の気持ちを胸に、愛知県代表として精一杯戦って参ります。」
(上山哲央)

◆個人戦

- ・男子 杉浦純揮(3) (安城市立安城北中学校出身)
- ・女子 山内朋子(3) (西尾市立福地中学校出身)



感謝の心育む「内観研修」

星城中学校



【6日間の内観研修で自分自身と向き合います】

星城中学校では、自分を見つめ直すことで、あらゆる物事への感謝の気持ちを育み、感謝のできる実践力を身につける目的で内観研修を実施しています。

今年は5月17日(金)～22日(水)の日程で、中学1年生が多くの保護者とともに、三重県桑名市の専光坊にて内観研修に取り組みました。

非日常の環境下でしっかり自分自身と向き合い、親や先生をはじめとする多くの人々に「していただいたこと」「迷惑をかけてしまったこと」等を振り返りました。懸命に支えてくれる人々がいることに気づくことができ、感謝の心が湧いてくる研修となりました。



【ありがとうございました！合掌】

「遊びは学び」

星の城幼稚園



【新聞紙びりびり！】

星の城幼稚園では主体的に遊ぶこと、主体的に生活することを大切にしています。そんな星の城幼稚園の子どもたちの遊びを紹介します。

砂場で「山つくろう」「お水も流したい」と楽しく遊ぶ中で、砂の感触を味わったり、砂や水の特性を感じたりしていきます。また、雨が降って外で遊べない日、先生が新聞紙をびりびりします。「ぼくも破りたい」「やってみたい」と子どもたち。破って、遊んで、集めて、「あーあ、楽しかった」。子どもの発想力や想像力はとても素晴らしく、友だちと共感し合ったり、協力し合ったりして、遊びが広がっていきます。

星の城幼稚園はこれからも、子どもの輝く目を大切に、笑顔あふれる幼稚園を目指します。



【泥んこ遊び】



【イメージを広げて】

臨床実習に向けた「臨床実習指導者会議」

星城大学リハビリテーション学院

3年生対象の長期臨床実習に向けた臨床実習指導者会議を、4月19日(金)にプライムセントラルタワー名古屋駅前店にて実施いたしました。

長期臨床実習を実施するにあたり、指導者の先生方とともに、臨床実習の教育目標や事務手続き等の確認を行いました。会議の中で、厚生労働省推奨の臨床実習モデルを取り入れている施設の先生に、実例紹介をしていただく場面もありました。



【実習指導者の先生に挨拶をしています】

会議後半には、本学院の卒業生を含む臨床実習施設の指導者の先生方と3年生で面談を行い、より良い臨床実習となるための貴重な時間とすることができました。

現在、3年生は各実習先にて臨床実習を行っています。それぞれの施設で様々なことを学んでください。



【先生方との面談前とても緊張しています！】



【会議の様子】



祝優勝「第19回世界剣道選手権大会」

星城大学剣道部 東良美師範率いる 男子日本代表チームが見事優勝！

2024年7月4日（木）～7日（日）、イタリア・ミラノにて開催された第19回世界剣道選手権大会で、星城大学剣道部の東良美師範（剣道 範士八段）率いる男子日本代表チームが、個人・団体戦ともに見事優勝を果たし、完全優勝に輝きました。

個人戦では、日本選手同期生のライバル同士が決勝戦まで勝ち上がりました。決勝戦は、攻防一致から攻め合って延長四回目、星子選手が執念面で見事初優勝を果たしました（日本勢18大会連続優勝）。

団体戦は、決勝戦まで圧倒的に勝ち進み、決勝戦では前回大会同様、韓国との一戦、一進一退の試合展開となり、

勝負は副将戦にもつれ込みました。副将戦は、竹ノ内選手攻めでの出小手と勝負を決める捨て身の飛び込み面が決まり、5大会連続17回目の優勝を成し遂げました。

＜東師範コメント＞

「3年間の強化の中で、多くのことを学ばせていただきました。

イタリアの地でチーム一丸となり、強く、正しく、美しい剣道で完全優勝することができたのも、石田正城理事長はじめ、学校職員、剣道部の学生皆様のご指導と稽古のおかげであると深く感謝しております。

選手たちは2年間の強化を通じて、技術の向上と共に、精神面の強化をし、誰からも応援される最高のチームへと進化してくれました。



【見事完全優勝を果たした「男子日本代表チーム」】

監督として、一流選手たちと共通理解して臨めたことが完全優勝につながったと思います。」

東先生には、2018年4月より星城大学剣道部の師範に就任いただき、部員たちに日々、「正しい剣道」を指導いただいています。

東師範のご指導により、現在星城大学剣道部は、男女ともに3年連続で全国大会に出場、第41回全日本女子学生優勝大会では、見事3位入賞を果たすなど大躍進を続けています。

これからも東師範ご指導のもと、星城大学・星城高等学校剣道部の益々の活躍が期待されます。



高校野球「育成功労賞」受賞

◆星城高等学校 木下秋次 先生

高校野球界に貢献した指導者を日本高校野球連盟と朝日新聞社が表彰する「育成功労賞」に、星城高等学校の木下秋次先生が選ばれました。これまで40年以上、母校（星城高等学校）で野球部員の指導や生徒指導に熱心に取り組んでこられた実績が評価されました。

木下先生が1981年に星城高等学校野球部の監督に就任されると、就任5年目に夏の愛知大会4強入りを果たします。着実に強豪としての地盤を固め、2000、04年には選抜大会21世紀枠の県内推薦校に選出されました。

このたびの受賞、誠にありがとうございます。



【木下 秋次 先生】